

成人へのポリオワクチン接種について

昭和50～52年生まれの方はポリオの抗体価が低いと言われます。

市の広報に接種を勧める記事が掲載されており、当院は接種医療機関として登録してあります。接種の意味、必要性、方法などをご理解の上、申し込んでください。

【背景】

昭和50～52年生まれの方のポリオ抗体価が低いことは事実ですが、他の年代の方も決して十分とは言いきれません。外国と違い日本ではポリオの接種回数もともと2回と足りないのです。ですからすべての成人が追加接種の対象になるともいえますが、受けなくてもそれほど不都合が起きていません。それは日本での接種率が高くポリオが国内に進入してこないからでしょう。

【必要な方とは】

問題になりうるのは子どもが受けたワクチンにより大人が感染するケースです。ですから未婚の方、お子さんがいない方はあまり気にする必要はありません。

【受けるとするなら】

ポリオワクチンには経口の生ワクチンと注射の不活化ワクチンがあります。日本ではいまだに生ワクチンですのでお子さんが受けたワクチンに親が感染することがあると同時に、お子さんもワクチンによる麻痺の危険性がわずかですがあり得ます。従って当院では生ワクチンよりも不活化ワクチンを優先的に勧めています。お子さんが不活化ワクチンを4回受けるか、大人の方に不活化ワクチンを注射することでかなり大人への感染はかなり回避できるはずです。

【生ワクチンを申し込むには】

これらの事情をご理解の上、生ワクチンを希望される場合は2週間以上の余裕を見込んで申し込んでください。ワクチンは1本に20人分はっており、一人で受ける時は¥8500程度かかります。できればふたり以上で受けていただきたいので申し込み段階で状況を説明します。なお、不活化ワクチンであればひとり1回¥5250で受けられます。

詳しくは当院のHPをご覧ください。

矢嶋小児科小児循環器クリニック
矢嶋茂裕

20110329